

R7 事業所における自己評価総括表

○事業所名	デイケアセンター ビーハウス		
○保護者評価実施期間	R7年 7月 1日	～	R7年 8月 23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	R7年 7月 1日	～	R7年 8月 9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 11月 4日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団活動、個別活動が実施できている。	<ul style="list-style-type: none"> 様々な活動が行えるように準備をしている。 様々な物を手作りして取り入れている。 専門的实施加算を行う上できちんとアセスメントと評価が行えている。 利用者さんの障害の程度に合わせた内容となっている。 利用者さん自身が参加しやすい活動の形を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 作れるものは作るなどして様々なものを取り入れていく。 SNSなどで情報を得て取り入れていく。
2	毎月勉強会を実施し、院内・院外研修にも参加して、職員の資質向上に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ビーハウスでの勉強会は計画を立てて実施できている。 掲示やメールをチェックし参加できる院内・院外研修には参加している。 全員が講師になることで、人前で喋る練習になり、調べることで自分自身の勉強に繋がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 良い院外研修があれば出来るだけ参加する。
3	職員間のコミュニケーションが取れており、情報共有が出来ている。	<ul style="list-style-type: none"> メモを取り、見える形で情報を伝達している。 口頭でもすぐに情報を共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員全員に伝えたいつもりで伝わっていないことがあるので気を付け、職員全員に伝える。 運営会議を行い、日常の悩みなど話をする時間を作る。共通認識できるようにする。更なる情報共有を行う。
4	利用者の権利擁護の取り組みに努めている。	<ul style="list-style-type: none"> 虐待防止委員会を開催し、内容を職員に周知できている。また、虐待防止に関する勉強会の実施が行えている。 利用者さんの思いを尊重出来ており、人権意識を持って仕事が出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束適正化のマニュアル作成、身体拘束を行う場合の 一連の流れを職員に周知する。 虐待防止マニュアルの定期的な見直し。 権利擁護研修の実施。 運営会議を実施する。
5	利用者さんが安全に過ごせている。	<ul style="list-style-type: none"> 体調の変化について細やかに観察している(顔色、脈、熱等) 丁寧なケアが実施出来ている。 緊急時のマニュアルが整備出来ている。 KYTの研修も実施出来ている。 ヒヤリハットの研修で事例の振り返りが行えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハットを必ず記入する。利用者さんの体調の変化等を個人記録などに細かく記入する。 今の状態、その日の体調等の情報共有をしっかりと行う。 日々のケア実施方法等も常に変わって来るので、状況、状態に合わせたケアをその都度話をして、適切な実施方

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	感染事例が起こった時に不安がある。	<ul style="list-style-type: none"> 感染事例が起きた場合の流れについて定期的な振り返りや見直しが行えていなかった。 家族の感染、感染対策意識が低い場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> BCPの見直し、確認を行う。 BCPIに基づく研修、訓練を実施する。 通信の号外を出すなどして情報対応の周知・徹底を図る。
2	保護者への助言等に不安を持っている職員が複数いる。	<ul style="list-style-type: none"> 障害特性について勉強する機会が少ない。 正しい知識を持っているはずだが、自分に自身が持てず、自分自身でブレーキをかけて不安になっている。 保護者のこだわりが強く対応できない。 	<ul style="list-style-type: none"> 障害特性について勉強する機会を作る。 運営会議を行い不安を話すことで、小さな不安を解消し自信をつける。
3	共通認識できていない部分がある。	<ul style="list-style-type: none"> 運営会議が実施できておらず、共通認識していかねければいけない事項の確認が出来ていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営会議を実施する。
4	災害対策が不十分である。	<ul style="list-style-type: none"> 車に乗せる物品の準備ができていない。 ビーハウス室内の物品の準備ができていない。 個々に必要なものをお知らせ準備してもらえていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 物品を揃える。 BCPの見直し、確認を行う。 BCPIに基づく研修、訓練を実施する。
5			